

■ 株式会社のご案内 (株主メモ)

事業年度	毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで
配当金交付株主確定日	3 月 31 日 ※なお、中間配当の株主確定日は 9 月 30 日
単元株式数	1,000 株
定時株主総会	6 月下旬
定時株主総会における 権利行使株主確定日	3 月 31 日
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲 1-2-1 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲 1-2-1 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒 168-8507 東京都杉並区和泉 2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続き取扱店 (住所変更、株主配当金受取り 方法の変更等)		みずほ証券 本店、全国各支店および営業所 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行本店および全国各支店、みずほ銀行本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続き取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。

公告方法	電子公告の方法により行う http://www.kinugawa-rubber.co.jp
------	--

Kinugawa Rubber Industrial Co., Ltd.

〒 263-0005 千葉県千葉市稲毛区長沼町 330 番地 TEL: 043-259-3164 (経営企画室) FAX: 043-250-2957

URL : <http://www.kinugawa-rubber.co.jp/>

スピード・変革・チャレンジ



第 75 期
株主通信

2013 年 4 月 1 日 ~ 2014 年 3 月 31 日



鬼怒川ゴム工業株式会社

証券コード : 5196

鬼怒川ゴム 新設・拡大拠点紹介

— 世界各国へ供給可能な26拠点体制へ —

Kinugawa Challenge

2015

スピード・変革・チャレンジ



2017 真のグローバル企業へ



キヌガワロシア LLC. KINUGAWA RUS

新設

ウドムルト共和国イジェフスク市



売上高	約10億円 (2016年見込)
従業員	約40名
投資額	約2億円(予定)
敷地面積	約1,500m ²
建屋面積	約20,000m ²
主要顧客	日産
市場規模	261万台 (2013年実績)

Point! 今後更なる市場拡大が見込まれるロシア市場に日系メーカーとして先行進出。主要顧客グループに加えて新たな取引の拡大を狙います。

他社に先駆けて
ロシア市場へ進出します



鬼怒川橡塑(鄭州)有限公司 KINUGAWA RUBBER AND PLASTIC ZHENGZHOU CO., LTD.

新設

中国河南省鄭州市



売上高	約30億円 (2016年見込)
従業員	約60名
投資額	約3億円(予定)
敷地面積	約20,000m ²
建屋面積	約4,000m ²
主要顧客	日産

Point! 中国華中地区において物流効率を高めるため車体シール部品のサテライト工場として進出。現地関係会社での型物・防振部品の生産も開始し販売拡大を図ります。

中国6番目の拠点です



キヌガワメキシコ KINUGAWA MEXICO, SA.SE C.V.

拡大

グアナファト州イラファト市



売上高	約60億円 (2016年見込)
従業員	約450名
投資額	約20億円(予定)
敷地面積	約74,000m ²
建屋面積	約20,000m ²
主要顧客	日産、VW、マツダ、ホンダ
市場規模	307万台 (2013年実績)

Point! 材料の現地化を推進しコスト競争力を向上させ近隣カーメーカーへの売上拡大を図ります。また、輸送効率が高い製品はLCC拠点として米州内への販売拡大を目指します。

米州最大規模の
生産拠点到拡大します



キヌガワブラジル KINUGAWA BRASIL Ltda.

新設

リオデジャネイロ州レゼンデ市



売上高	約14億円 (2016年見込)
従業員	約100名
投資額	約10億円(予定)
敷地面積	約15,000m ²
建屋面積	約5,000m ²
主要顧客	日産、VW
市場規模	345万台 (2013年実績)

Point! 主要顧客の生産拡大(20万台水準)に合わせて、材料、購入部品の徹底的な現地化を行い競争力を向上させるとともに欧米系メーカーへの販売拡大を目指します。

米州3番目の
生産拠点です



中期経営計画の達成状況

Kinugawa Challenge 2015

2015年度目標 (売上高・営業利益 (率))

売上高: **1,000** 億円以上

営業利益額: **120** 億円以上

営業利益率: **12%** 以上

着実かつ持続的に成長するために
モノ造りと組織能力を
グローバルに強化しています。



■売上高の達成状況

・外部環境の変化 (顧客の生産計画見直し他) を受けて1~2年遅れでの
1,000億円達成を目指しています

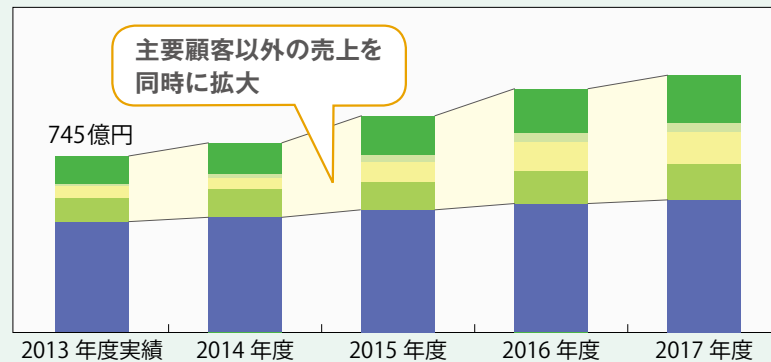
■利益の達成状況

- ・日本: 操業度を微減にとどめるとともに構造改革により利益を確保します
- ・米州: 拠点運営の安定化により財務体質を改善することで利益を回復させます
- ・アジア: 操業度の上昇やモノ造りの改善により利益率を向上させます



営業利益率12%達成を目標とし、引き続き売上高達成を目指します

■ 拡販達成状況



主要顧客である日産自動車への売上を拡大する一方で欧米系・日系・中国民族系メーカーへの拡販活動により他の顧客の売上比率を伸ばし売上高1,000億円達成を目指します。

ごあいさつ

株主のみなさまへ



代表取締役社長執行役員

関山 定男

株主のみなさまにおかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、第75期末株主通信をお届けいたします。

2013年度当社グループ連結業績は、米州・アジアでの受注増加及びモノ造り改善活動の実施等により前年度に比べ増収増益となりました。

米州では受注の増加による新工場立上げ費用等は発生しましたが、改善活動の効果により収益を回復基調へ乗せることができました。

2014年度は、米州では現地スタッフ主導での主要経営指標 (KPI) 改善活動により大幅に収益が改善、アジアでは自動車生産台数の増加や現地調達等により増収増益、日本では売上はやや減少するものの、生産性の向上や材料コストの削減により収益を維持し、連結で増収増益の見込みでございます。

あわせて、2011年に発表しましたKinugawa Challenge 2015の達成に取り組むとともに自動車産業の発展に向けてお役に立てるように引き続きグループ一丸となって取り組んでいく所存です。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

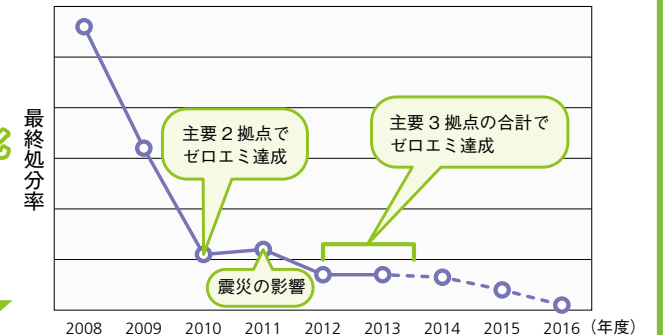
■ 環境への取組み

循環型社会を目指し、産業廃棄物の最終処分量削減に取り組んでおります。

- ・2013年度の最終処分率は2012年度同様主要3拠点 (郡山、大分、真岡) 合計で0.7%を達成出来ました。
- ・再利用可能な樹脂化の推進、廃棄物の削減、廃棄物の分別の徹底による再資源化を継続いたします。



■ 最終処分率推移



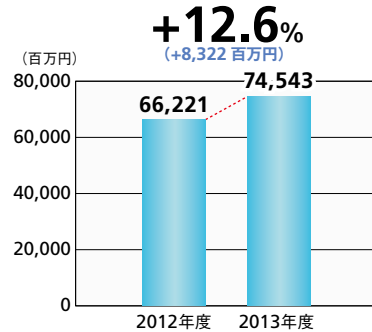
業績の概要

当社グループの主要得意先の自動車生産は、前年同期比で国内は前年並み、海外は中国が約3割増加、米州が1割増加し、グローバルでは約1割の増加となりました。この結果、当連結会計年度の売上高は、745億4千3百万円(前年同期比12.6%増)となりました。損益につきましては、海外の拡販による操業度の上昇や資材調達

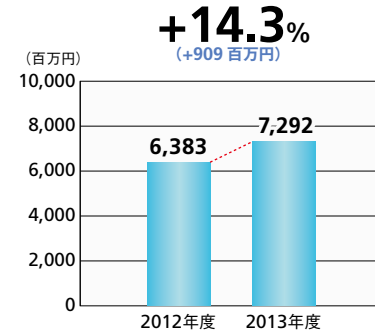
現地化・汎用化、モノ造り改善活動及び輸送コストの削減をはじめとした徹底した経費削減により、営業利益は72億9千2百万円(前年同期比14.3%増)、経常利益は為替差益などもあり80億8千4百万円(前年同期比14.7%増)、当期純利益は46億9千4百万円(前年同期比18.1%増)となりました。

■ 損益計算書

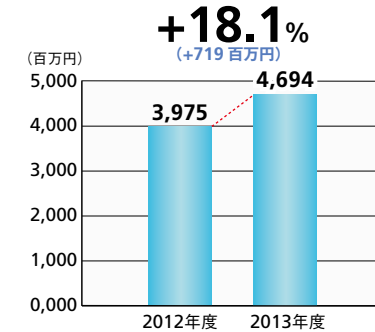
売上高



営業利益

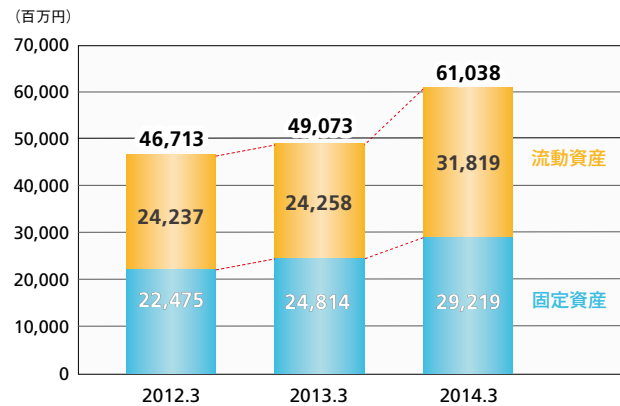


当期純利益

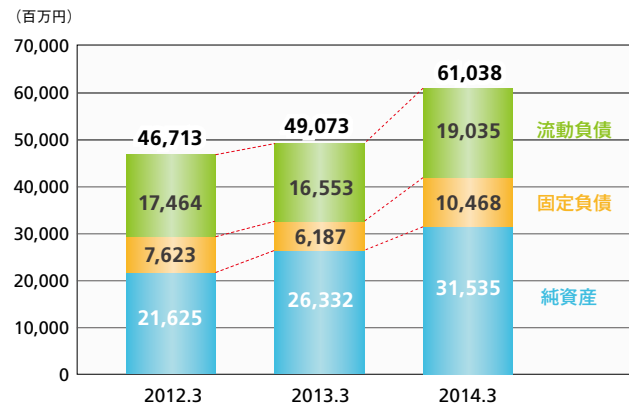


■ 貸借対照表

資産の部



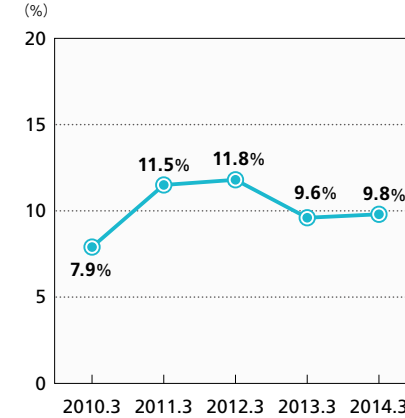
負債・純資産の部



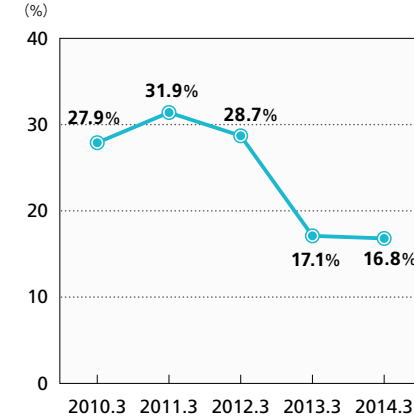
※百万円は切り捨て

主要経営指標の推移

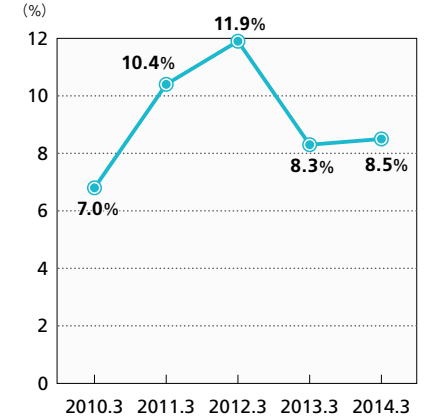
営業利益率



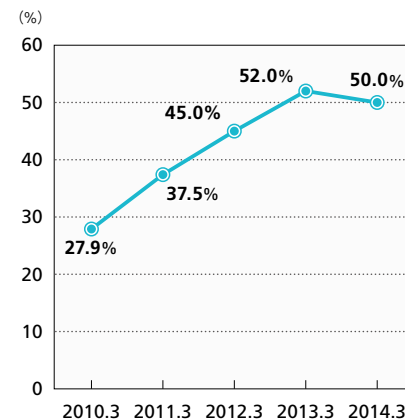
ROE



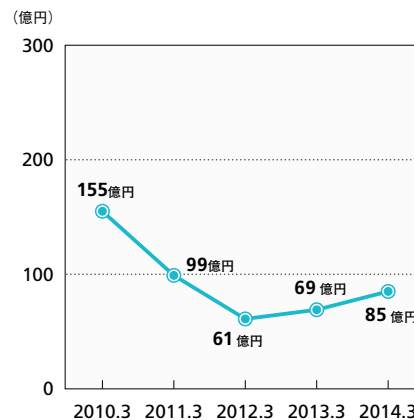
ROA



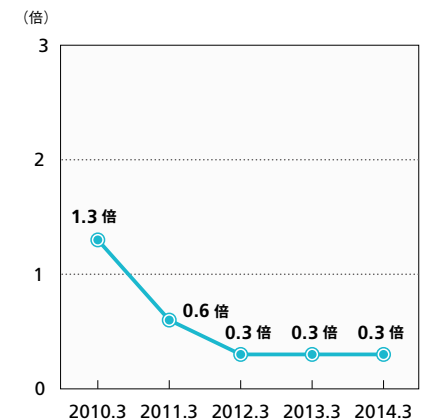
自己資本比率



有利子負債残高



DER



JPX日経インデックス400に当社採用

『投資家にとって投資魅力の高い会社』で構成される新しい株価指数であるJPX日経インデックス400に当社が採用されました。(2013年11月6日公表、2014年1月6日より運用開始)



機関投資家、個人投資家向けに 会社説明会を開催

投資家の皆様へ鬼怒川ゴムの会社説明会を開催しました。投資家のみならずさまざまな質問、たくさんのご意見、そして暖かな応援の言葉をいただきました。

(機関投資家向け説明会 2013年11月、個人投資家向け説明会 2013年12月、2014年3月に開催)



米州のモノ造り力が評価されて お客さまより多くの賞を受賞

アメリカのTEPRO,INC. が北米日産から優れたモノ造り力を評価されて『Regional Spirit of Monozukuri Award』を受賞、また北米スバルから信頼の高い顧客として評価されて『Excellence in Partnership』を受賞しました。米州の収益回復に弾みをつけて更なる飛躍を目指します。



インターンシップ(職場体験実習) による地域との交流

当社グループでは、大学生や近隣の高校生に、モノ造りを経験していただくことで、地域社会との交流をはかっています。キヌガワ大分では、地元高校生のインターンシップの皆さまに実習として作業設備の制作に携わっていただき、モノ造りの楽しさ、奥深さを体験していただきました。



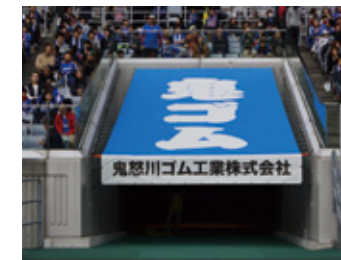
台湾でサプライヤー大賞受賞

鬼怒川ゴムグループの高効率・高生産性によるモノ造りが認められて、台湾の中光橡塑工業股份有限公司が中華汽車よりサプライヤー大賞を受賞しました。



公式クラブスポンサーカンパニーとして 横浜F・マリノスをサポート

2013年より当社は横浜F・マリノスの公式クラブスポンサーカンパニーとして協賛しております。投資家の皆様に親しまれている愛称『鬼ゴム』の旗が日産スタジアムに掲げられています。今期のJ1優勝を祈願して横浜F・マリノスを今年もサポートします！



● 沿革

1939 (昭和14)	鬼怒川護謨工業株式会社創立 (自動車部品その他ゴム製品の製造)
1961 (昭和36)	鬼怒川ゴム工業株式会社に商号変更
1962 (昭和37)	東京証券取引所市場第二部に上場
1964 (昭和39)	本社所在地を千葉市に変更
1971 (昭和46)	栃木県真岡市に工場建設(現(株)キヌガワ防振部品、 (株)キヌガワブレーキ部品) 台湾台北市に 「中光橡膠工業股份有限公司」設立
1977 (昭和52)	大分県中津市に工場建設(現(株)キヌガワ大分)
1978 (昭和53)	東京証券取引所市場第一部上場
1985 (昭和60)	アメリカ テネシー州ウインチェスター市に 「現地法人(現TEPRO)」設立
1992 (平成4)	福島県郡山市に工場建設(現(株)キヌガワ郡山)
1994 (平成6)	中国天津市に合弁会社 「天津星光橡膠有限公司」設立
1996 (平成8)	中国福州市に 「福州福光橡膠有限公司」設立
1999 (平成11)	東洋ゴム工業株式会社と資本・業務提携
2001 (平成13)	タイ アユタヤ県に「キヌガワタイランド」設立 工場部門を分社化
2004 (平成16)	エスイーシー化成株式会社設立
2005 (平成17)	八洲ゴム工業株式会社の経営権取得
2006 (平成18)	福州福光橡膠の花都分工場を独立させ 「鬼怒川橡膠(広州)有限公司」設立
2007 (平成19)	タイ CPR社を子会社化
2010 (平成22)	メキシコ グアナファト州イラプアト市に 「キヌガワメキシコ」設立 中国 大連市に「鬼怒川(大連) 模具開発有限公司」設立 中国 蕪湖市に「鬼怒川橡膠(蕪湖) 有限公司」設立
2011 (平成23)	帝都ゴム株式会社を完全子会社化
2012 (平成24)	インドネシア 西ジャワ州に「キヌガワインドネシア」設立 中国 鄭州市に「鬼怒川橡膠(鄭州) 有限公司」設立 インド チェンナイ市に「キヌガワインド」設立
2013 (平成25)	ロシア イジェフスク市に「キヌガワロシア」設立 ブラジル リオデジャネイロ州レゼンデ市に 「キヌガワブラジル」設立

● 会社概要

2014年3月31日現在

名称	鬼怒川ゴム工業株式会社 Kinugawa Rubber Industrial Co., Ltd.
証券コード	5196
本社所在地	千葉県千葉市稲毛区長沼町 330 番地 TEL : 043-259-3111
設立年月日	1939年10月1日
資本金	5,654百万円
主要な事業内容	自動車用ゴム及び 合成樹脂製品の製造・販売
従業員数(連結)	4,151名
営業所	大阪営業所 大阪府吹田市南金田 2-3-26 ファーイースト21 803号 TEL : 06-6155-4599

● 役員体制

役職名	氏名
代表取締役社長執行役員	せきやま きだ お 関山 定男
取締役常務執行役員	いまばやし いさお 今林 功
取締役常務執行役員	かみつ てるお 上津 輝男
取締役常務執行役員	なかじま としゆき 中島 俊之
監査役	すえまつ けん 末松 謙
監査役(非常勤)	おおき おきら 大木 宣
監査役(非常勤)	やまもと まさひこ 山本 正彦
監査役(非常勤)	みね なおひと 峯 直仁

● 株式の状況

2014年3月31日現在

発行可能株式総数 160,000,000株
発行済株式総数 67,299,522株 (自己株式79,060株)
株主数 5,791名

大株主

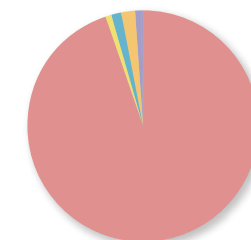
No	株主名	所有株数	比率
1	日産自動車株式会社退職給付信託口座 信託受託者 みずほ信託銀行株式会社 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	13,626,665	20.27
2	東洋ゴム工業株式会社	8,000,000	11.90
3	GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	2,729,946	4.06
4	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,040,000	3.03
5	日本生命保険相互会社	1,793,400	2.67
6	株式会社みずほ銀行	1,336,964	1.99
7	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	1,177,000	1.75
8	CREDIT SUISSE AG ZURICH	1,050,000	1.56
9	THE CHASE MANHATTAN BANK, N. A. LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT	956,000	1.42
10	日本証券金融株式会社	903,000	1.34

(注) 比率は自己株式79,060株を控除して計算しております。

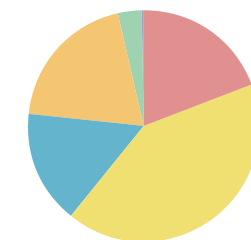
所有者別分布状況・所有株数別分布状況

所有者区分	株主数比率(%)	株式数比率(%)
個人・その他	94.89	19.24
金融機関	0.71	41.64
その他国内法人	1.47	15.94
外国人	2.07	19.61
証券会社	0.84	3.45
自己名義株式	0.02	0.12

株主数比率(%)



株式数比率(%)



	2010.3	2011.3	2012.3	2013.3	2014.3	2015.3(予)
当期純利益(百万円)	2,977	4,467	5,300	3,975	4,694	5,000
1株当り当期純利益(円)	44.35	66.56	79.16	59.13	69.83	74.38
1株当り配当金(円)	4	5	6	8	9	10